

**高野伸生委員** 自民党・市民クラブの高野です。

まず、環境白書の 31 ページに載っております環境学習関連施設、自然体験観察園というのがありますが、こういう環境教育の一環のことについて、また環境局全体としてこういった取り組みをどのようになされているのか、お伺いしたいと思います。

まず、田んぼ、畑を活用したさまざまな農事体験、あるいは観察園の中の自然の観察会を実施していると聞いておりますが、まず施設と取り組みの内容についてお伺いいたします。

**岡本環境局環境施策部環境施策課長** お答えいたします。

委員御案内の自然体験観察園は、花博記念公園鶴見緑地内にごさいますて、平成 2 年に開催されました国際花と緑の博覧会の理念、自然と人間との共生を継承し、実践に取り組んでいる屋外フィールド施設でございます。この施設は、かつての里山、田園の風景を手本として、雑木林や小川とあわせ、ため池や水田、畑などが整備されており、水田では稲、畑ではサツマイモやなにわ伝統野菜などをボランティアの方々とともに栽培しているほか、市民を対象とした農事体験の講座や自然観察会などを実施しております。

こうした取り組みを通じまして、人と自然とのかかわりについて市民の理解を深めていくことに努めているところでございます。以上でございます。

**高野伸生委員** この環境白書では、田んぼ、畑を活用した行事として自然体験観察園の取り組みだけが紹介されておりますが、そのほかにも同じような取り組みが、各所属あるいは各施設で行われていると思うんですけども、どんな取り組みがほかになされているのか、実施状況を教えていただきたいと思ひます。

**岡本環境局環境施策部環境施策課長** お答えいたします。

農事体験行事の実施状況についてのお尋ねでございますが、水田での田植え、稲刈りの体験行事としましては、当局の自然体験観察園のほか、下水道施設でございます住之江抽水所での取り組みがございます。また、畑などにおける農事体験行事としましては、小・中学校における学習園等を活用しました野菜の栽培や、東住吉区ではまちづくりの一環として、ボランティアの方々と一緒に、花づくりとともに野菜づくりや農事体験イベントが実施されているなど、各所属でさまざまな取り組みが実施されております。以上でございます。

**高野伸生委員** 資料の配付をお願いします。

**西崎照明委員長** 高野委員より、質疑の参考に資するため資料の配付の申し出がありますので、これを許します。

**高野伸生委員** ただいま環境局から、農事体験の実施状況、市内のそういう状況について主な説明がありました。この鶴見の環境局が直接やっておられるほかに、建設局がやってる住之江区の下水道、ポンプ場の跡地利用ですけれども、住之江抽水所のせせらぎの里、これは近隣の小学生が田植えや稲刈りの体験を現在しております。実は、これ、平林小学校の5年生が毎年交代で来られているんですけれども、大阪市内では貴重な水田でありまして、農業体験について重要な施設であると考えております。

建設局におきましては、水田の維持管理経費の関係から、平成29年から事業を縮小しておりますけれども、これ、今後どのような運営の計画を考えておられるのか、お伺いいたします。

**西村建設局南部方面管理事務所管理課長** お答え申し上げます。

せせらぎの里及び水田につきましては、住之江抽水所建設時に、市民に親しまれる下水道施設として広く地域の方に御理解をいただくことを目的として、水田3面を平成12年に整備したところでございます。現在、水田は、地元小学生の春の田植えや秋の稲刈りの農事体験に活用をいただいております。

本施設につきましては、経年劣化による水漏れも見られ、水田の維持管理に通じた職員の減少などによって当初の3面を維持していくことが困難となっておりますことから、現在のところ、水田を2面に縮小して事業を実施しております。今後とも地域の関係機関から、技術支援を初めとした御協力をいただくなどにより、取り組みを継続してまいりたいと考えております。以上でございます。

**高野伸生委員** 平成12年というのは、例のなにわ大放水路をつくったときに、最終的に平野区からずっと雨水を貯留しまして、これをくみ上げる大きなポンプ施設が住之江抽水所なんですけれども、その上部の跡地利用にそのときにせせらぎの里をつくったということなんです。それからずっと続いておったんですが、去年ぐらいから何かおかしいことを言い出しまして、この水田の運営にかかる経費が大変だからぼちぼち廃止していきたいという話をちらっと、そのときは非公式な話で聞いたんですが、これってどんな費用がかかっているのかちょっと聞いてみたんですが、現在、業者委託しているんです。稲の栽培、管理に、耕うんしたり、代引きというんですか、それから脱穀したり精米したりして、これ約98万円。それから、クリアウォーターOSAKA株式会社、下水道を管理している民間の会社ですが、水管理です。この会社が水管理、除草とかをやっておりまして、これが大体50万円。その他、水は工水を使っております、工業用水道、これが20万円ほどです。合計170万円という金額が出るんですが、これが大

変だというような話で。それは大変でしょう。市政改革、大阪市全域でやっていますから、いろんな局の中で費用を見直してということなんで、それはみんな見直されるんですけど、こんな施設、ほかにつくろうと思っても簡単にできるものじゃないと思いますし、せつかく十数年にわたって続けてきて、いきなり廃止されていくとなると、子供たちはかわいそうですし。

私は、ここで何を言いたいかというたら、こないして環境白書で環境教育をしっかりやっていくということ、そして例えば皆さん見てください、これ。8ページ、教育委員会事務局のトップコミットメントがあるんです。ヒートアイランド現象、子供に教育していろんな地球の環境保全を教えていくと。最後の4行に書いています。「そのために、地球環境保全、公害の防止、生物多様性保全、循環型社会の形成等を目的とした各校園における環境教育の充実を支援します」と。

各局が、何か白書にちょこちょこ、建設局はこういうトップコミットメント、教育委員会はこうだとか、いろんなまた局が出てきますけれども、これはやっぱり取りまとめる環境局がこういうことをしっかり把握しないと、あっちこっちでこういう環境に貢献しているそういう施設なり事業が、簡単に何か潰されてしまうような感じがするんです。だって、今答弁されました環境施策課長も、住之江にこんな抽水所があるの知りませんでしたということなんです。

だから、もっと詳しく、オール大阪でこういうことをやってんのやったら、オール大阪でいろんな施設をよく点検しないと、何のために環境白書をつかって、地球の環境保全とかCO2削減とかいうても、簡単にできるものじゃないんですよね。やっぱりみんなで力を合わせてやらないとできない。だから、パリ協定も結ばれて、日本も必死になって今、国全体としてそれをやろうとしているわけなんですけど、大阪市内の局でも、意味を理解しないで簡単に費用だけで廃止するとか、そんなことがないようにしてほしいなと思うんです。

今後、現在実施しているこの取り組みについて、大阪市全体として引き続き継続としていくべきやと考えておるんですけど、いかがですか。

**堀井環境局環境施策部長** お答え申し上げます。

自然とのかかわりが少なくなっております都市におきまして、農事体験は、身近な自然の魅力への気づきを促し、自然や環境への関心を高めることにつながります貴重な環境学習の機会であると認識しております。自然環境や生き物の存在を再認識し、守り、活用していくことなどを通じまして、誰もが心豊かで快適な生活を送ることができる都市環境を創造していくことを目指しまして、現在、大阪市環境審議会におきまして、(仮称)大阪市生物多様性戦略の策定に向けた審議も進められておるところでございます。

委員御指摘の農事体験行事につきましては、この戦略の取り組みに位置づけてまいりまして、大阪市地球温暖化対策推進本部のもと、関係局長等が参画いたしますプロジェクトチーム会議及び関係所属の課長級職員で構成いたしますワーキンググループを活用しながら、各所属にお

きまして、着実に継続、実施されるように取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

**高野伸生委員** 最後に局長にお伺いしたいんですけど、全局挙げて今、(仮称)大阪市生物多様性戦略策定に向けて、田中副市長を本部長としていろいろやられていると聞いておりますけれども、このプロジェクトチーム、しっかりと環境白書に書いてある施策を大阪市の各局がどれだけ理解しているのか常にチェックしていただいて、そしてそれぞれの事業で、もちろん改善せなあかん事業もあるでしょう、また新たな事業をやらなあかんことも出てくるでしょう。そういう精査をしながら、そしてその上で費用がどうであるという議論をやってほしいと思うんです。いかがですか、その辺の局長のこの取り調べに対する決意をお願いしたいと思います。

**北辻環境局長** お答え申し上げます。

市民の方々が自然と触れ合うことのできる機会を確保していくということは、快適な都市環境を創造し、自然と共生する社会の実現を目指していく上でも重要な取り組みであると考えております。

2010年には、生物多様性条約第10回締約国会議COP10が名古屋市で開催され、自然と共生する世界の実現を目指して生物多様性の保全に取り組む愛知目標が採択されるなど、生物多様性というのは、地球温暖化対策と並んで国際的にも非常に重要なテーマということになってございます。

現在策定を進めております(仮称)大阪市生物多様性戦略は、市民の方々が、我々人類を含めた生き物の成り立ちや自然環境の重要性を理解していただくための取り組みなどを含めまして、環境先進都市大阪を実現する上でも非常に重要な戦略であるというふうに考えてございます。

私といたしましても、地球温暖化対策推進本部のもとで、プロジェクトチーム会議のサブリーダーとして、この戦略に明確に位置づけた取り組みが各所属において着実に継続・実施されるよう、しっかりと進捗管理を行ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

**高野伸生委員** よろしく取り組みをお願いいたします。これで私の質疑は終わらせていただきます。